



いいで町

189号

議会だより

女性と語る会で町政への熱い議論を



大寒の最中 東部公民館にて

3月定例議会



携帯・スマホからアクセス!

3月定例会 令和5年度予算可決	P 2～3
施政方針・総括質疑	P 4～5
一般質問 5名の議員が質問に立つ	P 7～11
予算特別委員会 災害復旧費15億5200万円 ...	P 12～15
人事案	P 16
各常任委員会	P 17～18
各機関へ要望書を提出	P 20
特集 女性との懇談会 貴重な意見が続出 ...	P 21～23

会計予算及び水道事業会計予算

総額29億2,808万円)

3月定例会

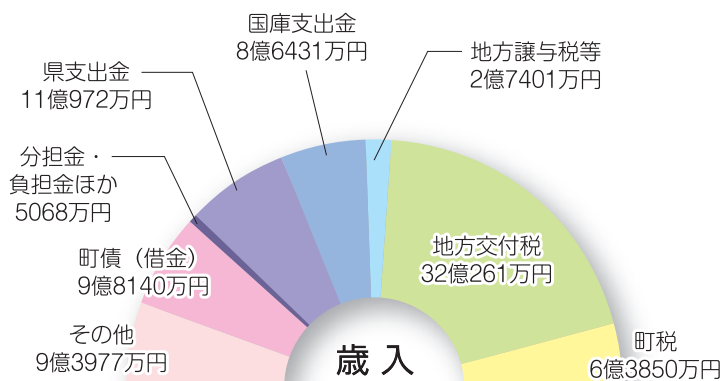
議会定例会の概要

令和5年第2回定例会は、3月2日から14日までの13日間開催され、5名の議員が一般質問に立ち、町政を問いました。

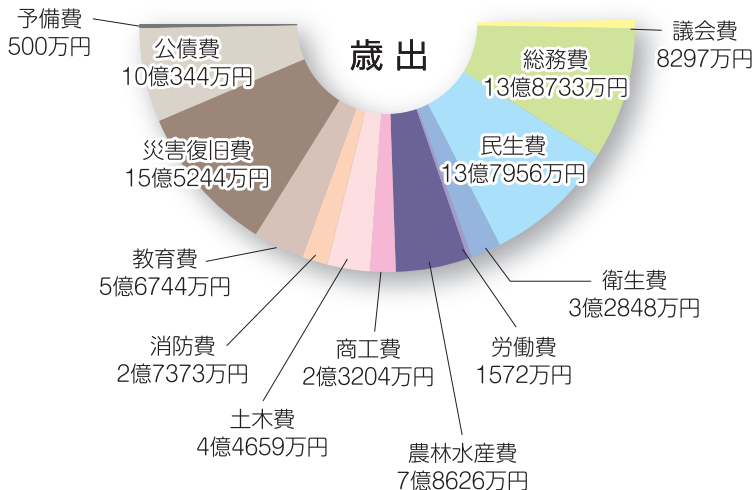
議案は、新たな条例の設定が2件、条例の一部改正が8件、一般会計及び各会計の補正予算12件、観光物産館など公の施設の指定管理者の指定が10件、置賜広域行政事務組合規約の一部改正及び令和5年度一般会計予算並びに特別会計及び水道事業会計予算13件、並びに追加議案として条例の一部改正1件、工事請負契約の締結1件、工事請負契約の変更1件、人事案件3件（16ページ参照）及び発議1件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

令和5年度 当初予算額

会計名		予算額
一般会計		80億6100万円
特別会計	国民健康保険	8億2628万円
	事業勘定	7億3571万円
	直営診療施設勘定	9057万円
	後期高齢者医療	9476万円
	介護保険	8億9942万円
	訪問看護	1882万円
	介護老人保健施設	3億1619万円
	下水道事業	4億1799万円
	萩生財産区	41万円
	豊原財産区	32万円
	添川財産区	437万円
	豊川財産区	23万円
	中津川財産区	481万円
水道事業会計		3億4448万円
損益勘定	2億3008万円	
資本勘定	1億1440万円	
合計		109億8908万円



令和5年度 一般会計当初予算



令和5年度一般会計予算、特別

(一般会計予算総額 80億6,100万円、特別会計予算

令和5年度一般会計当初予算の概要

一般会計予算の総額は、前年対比14億2,600万円増の80億6,100万円となりました。予算増額の要因としては、昨年8月3日から4日にかけて飯豊町を襲った豪雨災害の復旧に係る経費並びに建設から約30年余り経過した町民総合センターの大規模改修に係る経費が主なものとなっています。

歳入の主な内容は、地方交付税、固定資産税などの地方税、豪雨災害に係る国及び県からの公共土木施設災害復旧費負担金及び農地等災害復旧費負担金、ふるさと納税寄付金、豪雨災害復旧事業及び町民総合センター大規模改修並びに過疎地域自立促進特別事業に要するための地方債発行による借入金及び財政調整基金などからの繰入が主なものとなります。

主要な事業（歳出）

○豪雨災害復旧費	15億5,244万円
農地等災害復旧費	5億7,660万円
道路橋梁災害復旧費	7億9,024万円
林道災害復旧費	1億8,560万円
○町民総合センター大規模改修事業	5億1,080万円
○除雪事業	3億 382万円
○下水道事業特別会計会計繰出金	2億7,252万円
○認定こども園運営費	2億6,089万円
○障がい者自立支援事業	2億2,491万円
○常備消防費	2億2,054万円
○老人福祉費	1億9,875万円
○多面的機能支払交付金事業	1億4,583万円
○廃棄物処理事業	1億2,516万円
○消雪設備改修事業	3,410万円
○地域おこし協力隊受入事業	2,623万円
○畜産所得向上支援事業	3,596万円
○新産業集積事業	2,895万円
○飯豊で幸せになる事業	1,200万円
○地域づくり推進事業	822万円
○人口減少対策事業	555万円
○学校・家庭・地域の連携協働推進事業	711万円



施政方針

令和4年8月3日発生による災害に 対して全力で復旧・復興をする



飯豊町長

後藤 幸平

施政方針概要

本年の重点政策は、昨年発生した災害からの復旧と復興です。復興元年と位置付けて努力します。

また、「電動モビリティシステム専門職大学」が開学しますので、町の新しい可能性と人材育成による産業経済への貢献を期待します。

次代を担う子どもや若者の感性に思いを馳せて「やっぱり飯豊で幸せになる」と真に言える社会形成に一步ずつ歩みます。

予算編成方針

昨年に発生した災害からの復旧、復興には多額の費用を要します。本来であれば、直面する少子高齢化対策など山積する行政課題があり、第5次飯豊町総合計画及び第2期飯豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略に予算措置し実行していく時期ですが、町民が日常生活を取り戻すことに行政投資を行わなければならず、令和5年度予算は道路橋梁、農地及び林道等の災害復旧を最優先した予算編成を行いました。

令和5年度の 主要政策

人をはぐくむまち

◆本町の新たな教育のスタート年度として、幼少中一貫教育を具体的に進めていきます。

◆令和8年度の開校を目指す義務教育学校について、具体的な検討と計画作成に着手します。

◆災害における避難者支援をまちづくりセンターが果たすべき重要な機能の一つと位置付け、体制の整備を行います。

◆町民総合センター「あ～す」は開館から30年以上が経過し、特に、空調設備をはじめ様々な不具合が発生しており、令和5年度も継続して大規模改修工事を行います。



改装工事中の
町民総合センター「あ～す」

世代をつなぐまち

◆高齢者世帯の除雪支援については、豪雪地帯安全確保緊急対策交付金事業を活用して、地域安全克雪方針の策定及び、安全克雪事業を実施します。

◆置賜成年後見センターや児童発達支援施設「あゆむいいで」と連携し、障がいのある方やその介護者が、安心して生活できるように支援します。

縁をつなぐまち

◆地域おこし協力隊については、様々な能力

を生かした活動や地域の活性化に向けた、新たな隊員の受け入れを目指します。

郷土をつなぐまち

◆災害発生時の情報発信には、避難情報や災害発生時の情報などを一元的に発信できるシステム導入に努めます。

◆萩生水源は、町道大平線の復旧と合わせ、早期復旧を目指します。

可能性をひらくまち

◆水稲は、主食用米に加え地域条件に適した、水田フル活用による振興を目指します。また、加工品開発等の付加価値向上やブランド化に向けた6次産業化に取り組みます。

◆貸工場は、一日も早い稼働に向けて、企業との調整に努めてまいります。

総括質疑

令和5年度施政方針及び予算に対し 災害復旧と米坂線復旧に全力を



遠藤芳昭議員

3月定例会には、翌年度の施政方針と予算案が提案され、議会では予算特別委員会を設置し審議します。その際、議会の代表が施政方針と予算に対して『総括質疑』を行います。この度は遠藤議員が町の施策を質しました。

【災害と米坂線復旧】 8・3豪雨災害の全容とその復旧工事は

問 昨年8月の豪雨災害の被害の全容と復旧・復興計画は。

町長 次年度の予算編成は昨年8月豪雨で被害を受けた道路、橋梁、農地、林道などの復旧事業を最優先にした予算である。
被害は道路橋梁河川が39箇所、被害総額9億9千万円、上水道施設5箇所7500万円、

下水道施設1箇所1400万円、農地・農業

用施設1201箇所11億1400万円、林道関係16路線3億3800万円である。工事は

発注済の箇所もあるが、5年度においても出来るだけの予算を確保している。

米坂線復旧にむけて

問 米坂線復旧にむけての動きは。

町長 今泉から坂町間で100箇所を超えた被害がある。これまで、

県や沿線自治体と合同でJR新潟支社への緊急要望を行ってきたが、具体的な復旧計画は未だに提示されていない。



右は羽前橋駅。電車が来るのはいつになるか

【町施設維持管理】

町施設のあり方

問 人口減少や施設の老朽化、物価の高騰等により町の観光施設等は、存続・縮小・譲渡廃止・売却を検討する施設もあるのではないか。

町長 人口減少や人口

構造を見据え、縮減、廃止、統合を基本とし、取り壊しをする場合もある。

【貸し工場】

早期の操業を

問 貸工場の貸付と操業予定時期は。

町長 これまで想定してきたセパレータデザイン社の操業時期が見通せないため、新たな企業誘致を進めている。現在2社と相談を進めているが契約に至っておらず、操業時期はわからない。

【町づくりセンター】

地域の自主性を

問 地域が抱える様々な課題の解決はじめ、地域の自主性を引き出す事業や活動をどのようにすすめるか。

町長 誰もが地域の一

員として多様な考え方を認め合い、つながり、支え合う地域コミュニティを後押ししていく。災害時の避難者支援等の役割も果たすよう体制を整備していきたい。

【行財政改革】

将来に重い負担

問 町内の年間出生数は30人前後と、人口減少・少子化は急激に進んでいる。町の借金が将来の重い負担とならないよう「行財政の厳しい改革を断行すべき」では。

町長 災害復興に重きをおいた予算となり前年度比14億2600万円増の8億6100万円の大型予算となった。財政悪化のスピードは増すものと思われるため、経費の節減、事務事業の見直し、歳入確保などに努める。



氏名	質問事項	ページ
1. 議席番号4番 <small>えんどう よしあき</small> 遠藤 芳昭 議員	①飯豊町男女共同参画の取り組みについて ②令和4年8月豪雨における山林被害とその対応について ③高齢者世帯等除雪支援体制の整備について	P7
2. 議席番号5番 <small>たかはし まさる</small> 高橋 勝 議員	①遊休施設活用へ向けた準備を問う ②「私たちの想いがカタチになる！」町ですか ③「移住定住に必要なコト」とは何か、町の対応を問う	P8
3. 議席番号3番 <small>ふなやま まさお</small> 舟山 政男 議員	①新潟山形南部連絡道路の飯豊区間が事業化されることによる影響について ②緊急通報システムを含め、一人暮らしの高齢者の安否確認について ③防災ラジオの再調査について	P9
4. 議席番号2番 <small>やしあま まさかず</small> 屋嶋 雅一 議員	①8.3豪雨災害から見た課題をどう解決し次に備えるのか ②女性との懇談会から ●今農業従事者が求めていること その対応は ●子育て世代の経済的負担の対応は	P10
5. 議席番号1番 <small>かわさき ゆうじろう</small> 川崎 祐次郎 議員	①子供・子育てに特化した行政組織の新設・強化策について ②国民健康保険事業における町独自の新たな健康管理事業について ③主要地方道米沢飯豊線の安全な通行の確保対策について	P11

◎一般質問に関する記事は、質問者自身で執筆しています。
 また質問内容は、要約した記事となっています。

一般質問

豪雨で山林に土砂の早期撤去を

町長：国県に支援を求め、出来る限り早く



遠藤 芳昭 議員

【山林被害】

豪雨での山林被害は

【質問】 山が崩れ落ちている場所が沢山ある。山林の被害状況は。

林道被害159ヶ所
3億4千8百万円

町長 山林被害も著しく、林道も16路線159カ所、3億3800万円の被害額と見込んでいる。激甚災害での工事は、林道6路線、12箇所である。奥地は山崩れで、全てを把握できず、春以降調査に入り対策をたてる。

崩壊土砂が流出し 二次災害の心配が

【質問】 林道脇に土砂や倒木が沢山ある。それ



林道の脇の沢も土砂で埋まる

らが大雨で流れ出し、二次災害の恐れがあるため、早期に土砂の撤去が望まれる。

国・県へ工事を要望

町長 土砂撤去などを含めると被害額がさらに膨らむが、時間がかかっても対応する。国・県にも支援を要請しており、次年度より工事に入ってもらう。

【男女共同参画】

女性の社会参画推進を

【質問】 女性の社会参画をどのようにすすめていくのか。

女性の登用を促す

町長 審議会や委員会などで、女性の登用をうながし、町の政策に女性の意見を多く取り入れるよう努めていく。
教育長 社会教育委員やスポーツ推進委員、まちづくりセンターなどにおいて、若者や女性の主体的な活動を後押ししていく。



町づくりに女性の声を

【高齢者宅除雪支援】

自力除雪が困難な世帯数は

【質問】 高齢者のみの世帯が増えている。除雪困難な世帯数は。

75歳以上高齢者のみ246世帯

健康福祉課長 後期高齢者のみが246世帯ある。65歳以上の世帯からのアンケートによると、約半数の世帯が10年後の除雪はできないとの回答である。

除雪の支援策は

【質問】 高齢者世帯の「困難な除雪」を誰が支えていくのか。

最優先課題の一つとして取り組んでいる

町長 近年は除雪の担い手不足が深刻化している。高齢者世帯の除雪支援は最優先課題と

して取り組む。現在国土交通省の支援を受けて「豪雪地帯安全確保緊急対策事業」に取り組んでいる。

除雪の担い手や組織を育成する政策を

【質問】 これからは、地域やボランティア団体などの組織を育成する取り組みが必要では。

多様な組織と連携

町長 誰もがいつまでも住んでいられるよう、多様な組織と連携し、しっかりとした支援体制や支援の仕組みを整備していきたい。



除雪支援団体の育成を

(本人執筆)

一般質問

3月閉館となる幼児施設の利活用は

教育長：検討部署内で議論後に、地域と相談へ



高橋 勝 議員
たかはし まさひろ

●遊休施設の活用に向けた準備を問う

今後の幼児施設利活用の予定は

【質問】 令和5年3月末をもって、幼児施設（手ノ子幼稚園・添川児童センター）が閉園し、遊休施設となる。今後の利活用の予定は。

具体的な検討はまだ

教育長 幼児施設における検討状況については、具体的な検討に至っていない。なお添川児童センターは、既に公表しているとおり「あくすの改修期間1年に限り」、こどもみらい館として使用する予定となっている。

非常に残念。早急に利活用の検討を

【再質問】「町の新たな教育に関する説明会」では、8年度開学予定の

義務教育学校の誕生で空き校舎（手ノ子・添川）の利活用について「新年度の早いうちに義務教育学校準備委員会を立ち上げると同時に、空き校舎利活用の検討部署を設置したい。」と説明している。幼児施設も早急に利活用の検討を。

小学校と同等に検討

教育長 小学校の準備委員会（検討部署）内で、同時に検討に入り、その後に地域へ相談さ

せていただきたい。



施設の早期活用を



●私たちの想いがカタチになる町ですか

若者による地域活性化事業の成果は

【質問】 町はここ5年程度で、大学生や若者世

代のアイデアで、地域活性化を模索する事業を行ってきたが成果は

商品化・事業化は限定的

町長 若者・大学生から提案をいただき、検討・支援を行ったとしても、商品化・事業化までに至るのは限られてしまった。

成果向上へ県のモデル事業活用を

【質問】 県には、山形県ソーシャルイノベーション創出モデル事業があり、「住民から聞き取りを行い、地域の課題を洗い出し、専門家も交えて仕事として解決する」という、この事業を提案をしたい。

助言をいただきながら支援体制充実へ

町長 本事業のノウハ

ウを参考にしながら、またプロジェクトメンバーの助言をいただきながら、提案事業などへの支援体制を充実させていきたい。

●移住者支援は十分に伴走する支援体制を

【質問】 町には「移住ポータルサイト」はあるが、相談体制や定期的面談などの、移住者がいつでも気軽に相談できる「伴走型支援」が必要ではないか（女性との懇談会より）。

移住定住コーディネーターが対応

町長 地域おこし協力隊である移住定住コーディネーターを中心に、移住前の相談から移住後も、定期的に悩みや相談などへ対応している。（本人執筆）

一般質問

高規格道路ができることへの影響は 町長：町の発展に貢献できる道路に



舟山政男 議員

高規格道路ができることへの及ぼす影響は

質問 新潟山形南部道路の早期完成が要望されているが、道路ができることへの影響について考えておくことは？

地域の理解やコミュニケーションが必要である

町長 平成25年7月国土交通省において策定された「構想段階における道路計画策定プロセスガイドライン」で、地域の理解や協力が重要とある。計画を良いものとするために高規格道路が、地域活性化の起爆剤となるように国や、県、町内企業、地域住民と連携を持つ

て臨む。

考えられる具体的影響については

再質問 集落消滅、接続道路の在り方、地域の分断、また他の自治体が接続道路の近くに造成する工業団地等及ぼす影響については。

悪影響が出ないよう要望してゆく

町長 道路ができることによりストロー現象で取り残されない、地域を分断しない、景観を損なわない、そのようにすることが大切で、地域や飯豊町の発展に貢献できる道路にしていくことが大切である。

一人暮らしの高齢者の安否確認

質問 一人暮らし高齢者の安否確認のありかたは？

見守り支援を行っている

町長 「安心生きがい訪問事業」がある。ヘルパーが月に2回自宅を訪問。訪問以外の週には「お天気コール」を行なっている。「緊急通報システム」については、町から契約した警備会社へ通報され



工事が進む梨郷道路

防災ラジオの再調査について

質問 昨年8月3日の災害発生時にあって、防災ラジオが聞こえなかつたとの声に再調査をすることについては？

調査結果を基に検討する

町長 災害発生時には、気象情報や避難所開設情報について、防災ラジオを通して町民にお伝えした。しかし一部地域で電波が入らない、また入りにくい状況にあるということも認識している。受信感度向上のため、令和2年2月ファイダーアンテナを無償配布しているが、それでも受信できにくいとの声もあり、今年の2月に防災ラジオの販売業者が調査を行った。それを基に、対策を検討していく。

(本人執筆)

一般質問

一次避難所に備蓄品の保管を

町長：指定避難所への備蓄品を順次配備する



西部地区公民館の備蓄品



東部地区公民館の備蓄品



屋嶋雅一 議員

●災害対策

一次避難所にも備蓄品の保管必要

質問 今までも、避難所への備蓄品の保管が必要ではと提言してきましたが、この度の大災害の経験から、一次避難所への備蓄品の保管は必要と思うが。

指定避難所への備蓄品を順次配備

町長 この度の災害で避難所に備蓄品をすぐ届けることができなかった。大きな反省点であったと認識し、現在各地区公民館の職員から必要である物質の聞き取りをし、備蓄品を順次配備している。

自主防災組織と行政で
トランシーバー活用を

混乱が生じることもあるので今後慎重に検討

町長 現在消防団ではトランシーバーを使用している。昨年の災害でも使用されていた。行政でも使用となると混乱が生じることも考えられることから、今後慎重に検討したい。

●女性との懇談会から

農業従事者へ情報提供や技術指導の体制強化

質問 農業従事者への情報提供や技術指導の場が少ない。と話題になった。日々の情報や技術指導の設定など、バックアップ体制の強化を図る必要がある。また、研修会・セミナーや技術指導などは、*ワークショップ形式がいいのでは。

*参加者の主体性を重視した体験型講座、グループ学習、研究会などを目指す

まずは相談しやすい体制づくりに努める

町長 近年の営農の継続にはますます農業技術力の向上、経営力の強化の必要性が高くな

コミュニティスクール
でリサイクル活動を

質問 子育て世代は経済的負担が多く、特に教育課程に必要なスキルに負担を感じている。コミュニティスクールで話し合い、リサイクル活動を実施しては。

スキー場でレンタル
していることを周知

教育長 現在小学1・4年と中学1年を対象にスキー購入支援をしている。PTAが主体となつてのリサイクル活動を期待している。スキー場でレンタルしていることも周知する。

(本人執筆)

一般質問

子ども子育てに特化した行政組織を

町長：組織改編議論と横断的連携強化に努める



川崎 祐次郎 議員

子どもまんなか社会
に向けた町の行政組
織創設・充実を提案

質問 少子化が進む中、子どもの利益を第一に考え、こどもに関する政策を社会の真ん中に据えて健やかな成長を社会全体で後押しする「こどもまんなか社会」の実現のため、国は令和5年4月に「こども家庭庁」を創設する。これを機に飯豊町においても子育て支援に特化した「こども家庭課」を新設してはどうか。去る1月29日に開催された議会主催の「女性との懇談会」において、町の子育てに関する情報発信が少なく他の市町と比較して「子

育てに優しい町」とは言えないとの厳しい声をいただいた。情報発信や相談窓口を一元化し、縦割り行政の弊害を無くし、出産・子育て・成長に合わせた「伴走型行政サービス」を実現するため、組織改編・強化を提案する。

各課の横断的連携 で細やかに対応

町長 子育てに関する業務を担う健康福祉課と教育総務課の建物が離れており、窓口が分かれば一つの課で全ての手続きが出来るワンストップサービスに繋がりにくい場合があると思われるが多様化する子育て相談等については、関係各課が横断的に連

携し、きめ細かい対応が出来ると考える。今後、提案された組織改編等についてはキチンと議論していく。

国民健康保険事業で
積極的なガン予防対
策と補助制度を

質問 令和3年一年間の飯豊町の医療費統計を見ると相変わらず悪性新生物（ガン）の医療費が男女とも上位にある。沖縄県浦添市では、市が積極的にガン検診に取り組み、国のモデル事業により自宅から尿やわずかな血液を検査機関に送るだけのガン検診キットを導入するなどして、検診率の向上につなげている。町のガン検診の在り方や補助制度の創設を検討し、早期に実施すべきと考えるが。

検査補助制度を受
診勧奨対策に検討

町長 町内でも、ガンは死亡原因の第1位で令和2年度の死亡者総数の19パーセントがガンである。現在、手紙や電話などで各種ガン検診等の個別受診勧奨を行い、受診できなかった方へ再受診の呼びかけを行っている。受診率向上のため、南陽検診センターに加え、町内の医療機関でも受診できる体制を整える予定である。提案いただいた各検診への補助制度については、受診勧奨の一つとして検討していく。

命の道である「ダム道路」を1日も早く安全安心な通行確保へ

質問 主要地方道米沢飯豊線(通称ダム道路)は毎年のように通行止めや片側交互通行などの交通規制が実施されている。ダム道路は、

生活道路であり、医療・介護・保育・教育・林業振興・観光振興など中津川地区住民の「命の道」であり、町や町民にとっても重要な路線である。不測の事態のう回路である「菅沼峠」は急峻で非常に危険な路線であり整備促進期成同盟会が必死に改修の要望を行っている。県や国に対し、町の最重要課題として要望すべきと考えるが今後の対応は。

最重要課題として 県や国に要望する

町長 道路ネットワークは、繋がって機能するものであり、非常時に代替路が確保できないければ、安心して暮らすことはできない。ダム道路の安全な通行確保について、菅沼峠の整備促進と合わせ県や国の機関に要望する。
(本人執筆)

2億円を見込む

総務文教 所管分



予算特別委員長

古山 繁巳

令和5年度一般会計、各特別会計及び水道事業会計合わせて13件について、予算特別委員会を設置し審査しました。
委員長に古山繁巳委員、副委員長に高橋亨一委員を選任し、3月9日は総務文教所管分、3月10日は産業厚生所管分の2日間にわたり、慎重かつ活発な審査をおこないました。
いずれも可決すべきものと決しました。

一般会計

ふるさと寄附金の確保は可能か

質問 遠藤委員
2億円見込んでいるが確保可能か。これに係る委託料、返礼品、送料等の費用はどのようなのか。
企画課長 2月14日現在、寄附件数6740件、寄附額1億3770万円の実績であり2

億円を目標に取組む。費用は国のルールにより返礼品については寄附額の30%以内返礼品を含めた事務費で50%以内として予算計上した。

また、インターネットの「ふるさとチョイス」「楽天」「さとふる」からの寄附金は寄附額の増に連動して手数料が増額となる。

地域おこし協力隊受入事業の内容は

質問 高橋(勝)委員
受入事業で増額されている科目の内容は。また、地域おこし協力隊の令和5年度の体制は。
企画課長 現在、企画課所管の隊員はミッション型の隊員が1名と起業型隊員が2名であ

り、報償費の増額は起業型隊員1名分の採用を見込んだため。
また、活動補助金の増額は起業型隊員3名分と令和5年度で終了する隊員への創業支援であり、財源は国の特別交付金を充当する。
また、令和5年度の体制は、新規1名を見込み企画課所管で4名を予定している。

システム保守委託料の減額理由は

質問 屋嶋委員

総合行政ネットワークシステム保守委託料の減額理由とシステムの機器リース料の増額の内容は。

企画課長 システム機器を更新したため保守委託料の減額で、令和5年7月に予定しているシステム更新によるリース料の増額である。

【ふるさと寄附金の実績】

年度	寄附者	寄附額
令和3年度	6267人	1億4040万円
令和2年度	8449人	1億4063万円
令和元年度	3265人	4659万円
平成30年度	2611人	4407万円
平成29年度	17161人	2億3206万円
平成28年度	11472人	1億4881万円
平成27年度	11524人	1億6873万円
平成26年度	7545人	1億431万円
平成25年度	1597人	1664万円

予算特別 委員会

ふるさと寄附金



豪雨で土砂が流入した中学校グラウンド

ふれあい休憩施設管
理運営業務の内容は

質問 舟山委員

現在豪雨災害により米坂線が運行されていないが、予算の算定はどのようにしたのか。
住民課長 樅駅の施設維持管理経費と現在バスによる代行運行の案内の人件費等を含め4年度同等の予算を計上した。

社会体育施設工事
請負費の内容は

質問 高橋(亨)委員

どここの施設で予算の内容は。
社会教育課長 8月の豪雨災害により町民スポーツ公園(中学校グラウンド)、野球場に土砂が流入したための復旧工事予算で概算でスポーツ公園は1800万円、野球場は840万円を計上した。

いいで未来カフェ
運営業務の内容は

質問 高橋(勝)委員

いいで未来カフェ運営業務委託料と空き家リノベーションによる地域の拠点づくり補助金の事業内容と財源は。
企画課長 いいで未来カフェについては若者等のまちづくり人材育成、若者の交流の場の創出事業への支援で町の単独予算で、空き家リノベーションについては民間から公募し運営計画書を提出してもらい選定する。財源は国の補助金となる。

地域活性化起業人事業の内容と財源は

質問 川崎委員

事業の内容と財源の詳細は。
企画課長 令和5年度からの新たな事業で3大都市圏の企業の社員



若者の集いの場を創出へ(いいで未来カフェ)

をお願いするもので、業務の内容は町内の魅力発信するなどシテイプロモーション業務やふるさと納税の増につなげる業務を計画し、現在6か月間の勤務で調整している。
また、財源は特別地方交付税を充当する。

ポンプ車の確保は

質問 後藤委員

現在欠損している消

防団の車両1台について予算計上されていないが購入予定は無いのか。
総務課長 予算には計上していないが、現在県を通して消防庁に「消防団の無償貸し付け車両の制度」を活用し申請している。車両は3・5トンの自動車ポンプで普通免許で運転できる。決定次第報告する。

産業厚生 所管分

00万円計上なし

令和5年度予算に貸工場使用料の計上なし

質問 遠藤委員

令和5年度の予算歳入に、貸工場使用料が計上されていない。令和3年度、令和4年度で6800万円の歳入欠損が出ているが、貸工場の現状は、**商工観光課長** 現在、貸工場について企業と交渉中であり、決定次第予算計上したいと考えている。

新産業集積事業の内訳は

質問 高橋(勝)委員

新産業集積事業において、新規に計上されている874万円の内訳は。**商工観光課長** 主な内容は、貸工場の経費として711万円であり、光熱水費482万円、保守点検委託料188万円で、その他の事業の報償費や警備委託料となっている。

観光・イベントに
渓流魚の活用を

質問 川崎委員

観光費に渓流魚等資源保護事業がある。町は淡水魚の生産基地を作り、イワナやヤマメなどを観光の目玉としていたと思うが、現在どのように活用しているか。また、今後観光やイベントに渓流魚を利活用できないか。**商工観光課長** 渓流魚等の保護事業として、25万円計上している。現在もイワナやヤマメを毎年放流している。今後中津川の企業や地域おこし協力隊とも連携し、資源を活用した新しい事業の立ち上げも考えたい。

報システム運用業務委託料で120万円予算化されているが、現在の緊急通報システムの利用状況と来年度何名見込んでいるのか。また、利用者の増加で委託料に変動はないか。**健康福祉課長** 現在の利用者は31名で令和5年度予算では、33名を見込んでいる。また、委託契約の金額は月額1件当たり2970円としている。利用者が増加による金額の変動はない。

また、里山と宅地の間の下刈など。
台湾インバウンド補助金の減額理由は

質問 高橋(亨)委員

台湾インバウンド補助金が今年度より15万円減額されている。これから多くの方の来町が見込まれるのに、なぜ減額なのか。**観光交流室長** 観光協会への委託となるが、営業等の経費として支払っている。また、観光協会だけでなく、DMOの職員も営業してくれている。コロナ禍により国内の誘客にも力をいれたため、国内の方の来町も増えてきた。良い循環で回ってきていることを考え、減額とした。

森づくり支援業務の内容は

質問 舟山委員

林業振興費の森づくり支援事業業務委託料700万円の事業内容は。
農林整備室長 水芭蕉群生地や遊歩道整備や子供たちが木に触れる大切さを学ぶ木工体験、

緊急通報システムの
利用状況は

質問 屋嶋委員

老人福祉費の緊急通

緊急通報システムの利用状況は

老人福祉費の緊急通



今だに使用されていない貸工場

予算特別 委員会

貸工場使用料34

配食サービス事業
の増額理由は

質問 後藤委員

老人福祉費の配食サービス事業が本年度当初予算より110万円増えている。増額の内容と委託先は。

健康福祉課長 来年度20名を予定し、今年度より増えることを見込んでいる。委託先は、手ノ子のおじか食堂と萩生のセルカの2ヶ所と考えている。



配食サービス委託先のセルカ

下水道事業の設備
更新工事の内容は

質問 屋嶋委員

下水道事業の施設建設費で、設備更新工事の内容は。

地域整備課長 樺地区と萩生地区の処理場施設内にある破砕機の更新費用で、更新理由は耐用年数が超えていること、また、8月の豪雨による不明水によってシャフトの摩耗が生じたことによる。

認知症初期集中支援推進事業の対象人数は

質問 川崎委員

介護保険特別会計の認知症初期集中支援推進事業委託950万円だが、令和5年度の対象人数は。

特別 会計

健康福祉課長 今年度の利用者は14名で、そのうち福祉施設や医療機関に繋がった方は6名で、現在は8名の方が利用中。令和5年度は、この8名の利用と他に数名の認知症の情報もあり、声がけて支援に繋がりたい。

水道事業の動力費と
薬品費の増額理由は

質問 高橋(勝)委員

水道事業の収益的支出で、原水及び浄水費の動力費が2.5倍、薬品費が3.5倍となっている。増額の理由は。

地域整備課長 動力費は、昨年の豪雨により萩生水源が被災し小白川浄水場と中浄水場を

通年稼働となったことや電気代の高騰により増額。薬品費も浄水場

の通年稼働と異臭対策として粉末活性炭を使用することで増額となった。

給水収益の減額理由

質問 遠藤委員

水道事業の給水収益が240万円減額されている。減額の理由は。

地域整備課長 コロナ禍により大口の収益減によるものと世帯数の減少から減額とした。

有収水量の何割を見込んだ水道料金か

質問 後藤委員

水道事業で年間総給水量や一日平均給水量の予定量が示されている。これに対する有収水量の何割を見込んだ水道料金1億9200万円か。

地域整備課長 給水収益1億9200万円を導き出したのは、有収水量の何割とかでなく、

毎年の水道料金がどれくらいかをベースにしている。



通年稼働となる中浄水場

各人事案に全議員同意

●豊原財産区

管理会委員

任期 令和5年4月1日～
令和9年3月31日
4年間

細谷 芳弘 (再任)

大字中

木村 孝雄 (再任)

大字萩生

高橋 輝明 (再任)

大字萩生

手塚 康博 (再任)

大字萩生

佐藤 幹彦 (再任)

大字黒沢

手塚 新蔵 (再任)

大字黒沢

長沼 良治 (新任)

大字椿

●豊川財産区

管理会委員

任期 令和5年4月1日～
令和9年3月31日
4年間

竹田 一郎 (再任)

大字手ノ子

古川 啓治 (再任)

大字手ノ子

佐藤 利浩 (再任)

大字手ノ子

高橋 孝 (再任)

大字高峰

井上 浩利 (新任)

大字高峰

渡部 泰広 (再任)

大字小白川

舟山 新弥 (再任)

大字小白川

●添川財産区

管理会委員

任期 令和5年4月1日～
令和9年3月31日
4年間

佐原 次男 (再任)

大字添川

横澤 俊彦 (新任)

大字添川

佐藤 芳栄 (再任)

大字松原

井上 久男 (再任)

大字添川

横澤 勘嗣 (新任)

大字添川

加藤 慶一 (新任)

大字添川

深瀬 章 (新任)

大字添川

●飯豊町固定資産評価

審査委員会委員

任期 令和5年6月20日～
令和8年6月19日
3年間

渡部 恵介 (再任)

大字川内戸

●人権擁護委員の推薦

任期 令和5年7月1日～
令和8年6月30日
3年間

茂木 栄子

大字添川



こどもみらい館

総務文教常任委員会

旧添川児童センターで開館 (4月5日)

各課からの報告

質問と答弁

◆犯罪被害者等見舞金

殺人、強盗致死傷などの故意犯により被害者が亡くなられた時、遺族に対し遺族見舞金30万円、犯罪行為により傷害を負った被害者本人に傷害見舞金10万円を支給するため要綱を定めた。

(住民課・税務会計課)

◆消防庁長官表彰

8月の豪雨災害時における消防団活動が評価され、町消防団が令和4年度防災功労者消防庁長官表彰を受賞した。

(総務課)

◆新たな教育に関する

説明会の状況

2月3日から3月1日まで小・中学校5か

所で75人、幼児施設3

か所で56人、公民館等

5か所で44人で延べ1

75人の参加者であつ

た。様々な質問やご意

見を頂き、今後も説明

が必要である。

(教育委員会)

◆こどもみらい館移動

こどもみらい館は町民総合センター「あす」の改修工事のため、旧添川児童センターに移動し、4月5日より開館する。

(教育総務課)

◆ダムマラソン開催

第41回全国白川ダム湖畔マラソン大会を5月28日に開催する。

定員 950名

締切り 4月14日

(社会教育課)

●地区防災計画の進め方は

遠藤委員 8月豪雨に

おいて自主防災組織が

適切に機能しなかつた。

今後の防災研修会等で

地区防災計画を策定す

べきと思うが。

総務課長 これまで自

主防災組織の研修会、

要支援者の把握、リー

ダー育成のために防災

士の資格取得補助に取

り組んできた。今年度

は7地区8団体に担当

職員が出向き研修会を

開催した。地区防災計

画については地域や組

織の実情に合った実効

性のある計画を提案し

ていく。

●公民館長とまちづく

りセンター長の任期は

古山委員 地区公民館

長とまちづくりセンタ

ー長の任期が同じ人で

ありながら整合性がな

い。また、東部・白樺

公民館の一人の職員が

週5日の勤務でないの

はどうしてか。

社会教育課長 現況で

は公民館長の任期は条

例で2年、まちづくり

センター長は委嘱で1

年であり、今後は整合

性を取るべく検討する。

また、職員の勤務体制

については、フルタイ

ムの人材確保が出来ず、

現在2館は週3日間の

勤務で対応している。

業務に支障が無いよう

に今後も検討していく。

●給食費収入が減少し

ているがその要因は

後藤委員 給食費の収

納が345万円減額と

なっているが、要因と

今年度は一食当たり賄

材料費いくらか。

教育総務課長 減額の

理由はコロナ感染症に

よる学校閉鎖、学級閉

鎖等による供給減で、

コロナ関連に対しては

給食費を徴収しないこ

とによるもの。一食当

たりの賄材料費は平均

約340円。

●部活動地域移行は

菅野委員 今後部活動

の地域移行はどのよう

に進めるのか。

社会教育課長 地域移

行のあり方について現在

町内の各種団体(中学

校・スポーツ協会・ス

ポーツ少年団・キララ

等)に県の担当者から

説明を受け、どのよう

に移行していくか現在

進行中である。

SDGs (バイオガス発電からの液肥を活用)

産業厚生常任委員会

各課からの報告

◆農業委員及び農地利用最適化推進委員を募集

本年7月19日で任期満了を迎える農業委員及び農地利用最適化推進委員を4月28日(必着)までの期間で募集している。

報酬は、農業委員が年額28万円+能率給、農地利用最適化推進委員が年額20万円+能率給となっている。

農業委員及び農地利用最適化推進委員は、町の非常勤特別職となり、任期は、令和5年7月20日から令和8年7月19日までの3年間となる。

応募資格、応募方法、選任方法等募集内容についての問い合わせは、町農業委員会(☎87-0524)まで。
(農林振興課・農業委員会)

◆令和5年度の新型コロナウィルスワクチン接種について

国の予防接種・ワクチン分科会(3月7日)の最終的な報告として、令和5年度の1年間は、現行の特例臨時接種を延長して行うことになった。

ワクチン接種の実施主体は、町が引き続き行い、費用は全額国が負担する。

重症化リスクが高い者については、5月から8月にかけて接種を前倒しして行い、その他の追加接種可能な全ての年齢の者については、9月から12月にかけて行う。

使用するワクチンは、現在使用しているオミクロン株対応2価ワクチンを基本とする。

(健康福祉課)

質問と答弁

●原油高騰対策助成事業を小規模企業へも

屋嶋委員 従業員20名以下の企業に対する原油高騰対策支援事業の取り組みが薄い。規模の大小に関係なく対応すべきと思うが。

商工観光課長 今後、同様の支援対策を行う場合、国県の交付金等の内容を考慮し、検討する。

●消雪道路の点検時期を早められないか

舟山委員 消雪道路の点検時期をもう少し早くして降雪期に備えることはできないのか。

地域整備課長 消雪道路の点検は、消雪用水のポンプアップのため

季節電力を使用し、毎年11月15日頃に行っている。今後は、臨時的に電力を確保して早期に行うよう努める。

●電気料金値上げへの対応は

高橋(亨)委員 原油の高騰だけでなく電気料金の値上げも続いているので何か対策が必要なのではないのか。

商工観光課長 電気料金の値上げが日常生活に影響を与えている。調査の上、どういった対策が出来るのか検討したい。

●水道水の異臭対策は

古山委員 豪雨災害の後も時々水道水の異臭が気になる。原因と対策は。

地域整備課長 水道水の給水量と水源地からの取水量がほぼ同じ量

となっている。菖生水源の被災により、水道管にわずかに残留する汚泥を取り除くなどの処理を給水時間帯の調整を行いながら実施し

ている。活性炭の投入を継続して行い、安全な水道水の供給に努めていく。

●眺山のバイオガス発電所の液肥利用は

菅野委員 バイオガス発電所が順調に稼働しており、今後の液肥の有効利用に期待が持てる。今後、町の農業振興にどのように生かしていくのか。

農林振興課長 町としても今後の農業振興に液肥を有効的に活用したいと考えている。令和4年の繰越事業として液肥の散布車の導入事業を行う予定である。



自走バキュームタンク (液肥散布車)

議会がタブレット端末導入へ

3月よりペーパーレス議会開始※

議会もタブレットへ



今年度から、議会へ導入を予定していたタブレット端末が、ようやく2月から発注先から届きました。スムーズな運用に向けて議会と特別職・管理職等を対象に、2月9日・21日に研修会が開催され、3月定例会から本格導入となります。そこで議会では、「飯豊町議会ペーパーレス会議システム及びタブレット端末の使用に関する運用規定」を策定し、3月議会より、適用することになりました。

◆使用後の議員の感想

- メリットも多いので、操作方法などを早く習得したい。
- 情報収集や資料整理など、議員活動に大きな手助けになってくれると思うので、積極的に活用していきたい。
- 新たなシステムに早く慣れて、使いこなせるようにしていく。
- 貴重な予算をいただいているタブレットとシステムの導入となった今後しっかりと管理規定を順守し、運用していきたい。



タブレット内の議案に目をやる議員

※ペーパーレス議会

議会資料をデータ化し、パソコンや端末などを見ながら行うことができるシステムのこと。以下のようなメリットがあります。

- ①印刷コストの削減
- ②資料の検索性向上
- ③保管場所の削減
- ④リモートワークの推進
- ⑤セキュリティ向上
- ⑥保存性が高い



第1回臨時会

令和5年1月27日に臨時会が開催され、一般会計補正予算の審議を行い、全議員の賛成で可決されました。主な歳出は以下の通りです。

▼補正予算の主な歳入

- 公共土木施設災害復旧費負担金 (国庫負担金) 2億1397万円
- 農地等災害復旧費負担金 (県負担金) 1億7200万円

▼補正予算の主な歳出

- 出産子育て応援交付金 (国庫補助金) 201万円
- 出産子育て応援交付金 (県補助金) 50万円
- 財政調整基金繰入金 Δ 2400万円

▼補正予算の主な歳出

- ふるさと納税ポータルサイト等委託料 333万円
- 出産子育て応援交付金の追加 300万円
- 飲食店利用促進支援補助金の追加 200万円
- 8月3日発生豪雨農地等災害復旧事業 1億円
- 8月3日発生豪雨道路橋梁災害復旧事業 2億5471万円

豪雨災害と雪崩の早期復旧 に関する要望書を提出

要望書提出

◆令和4年8月3日豪雨災害に関する要望書

1. 災害復旧に係る地方負担に対する財政措置
2. 新潟山形南部連絡道路の整備促進
3. 米坂線の早期全面復旧

提出先…総務省
財務省

国土交通省

期 日…令和5年1月18日



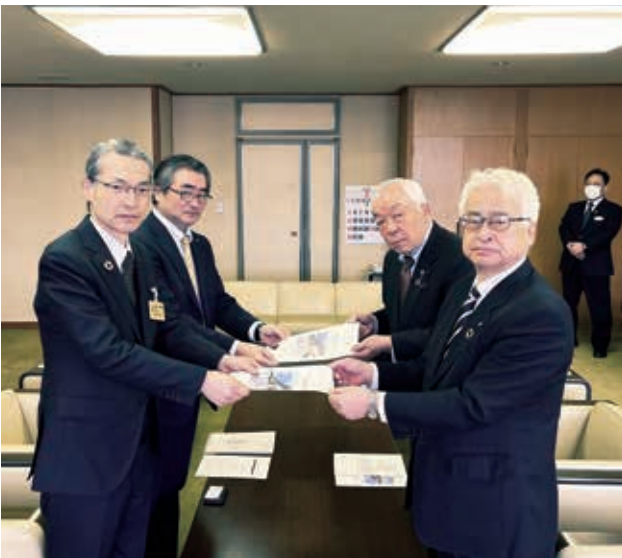
大臣官房審議官に要望書を提出

◆主要地方道米沢飯豊線の雪崩による 全面通行止めに関する緊急要望書

1. 1日も早い全面通行止めの解除、または片側交互通行など通行規制の緩和について、特段のご配慮をお願いします。
2. 地域住民に対する情報提供などについて、町と連携しきめ細やかな対応をお願いします。
3. 災害時等の迂回路にもなる菅沼峠区間隘路解消事業の早期着手について、特段のご配慮をお願いします。

提出先…山形県

期 日…令和5年2月10日



県土木部次長(手前)、置賜総合支庁西置賜地域振興局長に要望書を手渡す

小中一貫教育 制度について の研修会

中央陳情を行った翌日の1月19日には、衆議院議員会館の一室に於いて、義務教育学校も含まれる「適正規模・適正配置小中一貫教育制度」について、研修を行いました。

文部科学省として「より良い教育環境の実現」を財政的に支援する仕組みについて、次に学校統合を検討する場合の留意事項①統合の適否に関する合意形成②魅力ある学校作り③統合により生じる課題への対応をそれぞれ説明がありました。その後には、活発な質疑応答が行われ、充実の研修会となりました。今後の議員活動に活かしていきます。

特集

女性の意見を町政に

—女性の方との懇談会開催—

町議会

まちづくりに必要な

女性の声・意見

はじめての企画

町づくりに対する意見を直接お聞きするため1月29日（日）東部地区公民館において「女性の方との懇談会」を開催しました。

町議会ではこれまで「女性の視点をまちづくり」を目標に議会活動に取り組んできましたが、初めての企画となりました。

16名の参加

懇談会には16名の方に参加いただき、女性から見た今の町づくりに対する意見や将来への提言等と話し合っていました。

声を聞くだけでなく

声を伝え実現する議会活動に

声を聞くだけでは町は何も変わりません。議会では皆様の声を次のように対応します。

① 広く町民の方にも理解いただくように、「議会だより」に掲載していきます。

② 町がすべき仕事は、議会の場において「一般質問」を行います。

（3月定例会でも数名が行いました。）

③ 新たな条例や予算が必要な場合は町長に「政策提言」を行いその実現をせまります。

■女性の方との懇談会■

飯豊町議会

皆さんの声を聞かせてください

町議会では、「これからの政策を町民目線でとらえる」ことをテーマとして、町内に住む「女性の方との懇談会」を開催することとなりました。多くの方の参加をお願いします。内容は以下のとおりです。

- ＜日時＞ 令和5年1月29日（日）午前9時30分～11時30分
- ＜会場＞ 東部地区公民館（しらさぎ荘隣）
- ＜対象＞ 町内に住む個人及び団体の女性の方
- ＜内容＞ 飯豊町内に住む女性を対象にした議員との懇談会で、日ごろ思っている意見や考えを述べてください



- 現在の町づくりのいいところ、悪いところ
- 町の将来への希望と不安
- 女性からみたまちづくりへの期待と課題
- 将来に向けて、今すぐしなければならぬこと

■いただいたご意見は■

皆さんからのご意見は以下のように対応してまいります。
ご意見に対する対応等については「議会だより」で報告します。
行政が取り組む課題は、議会で「一般質問」に取り上げます。
予算が必要なものについては、町に対して「政策提言」を行います。

申し込み・お問い合わせ

参加していただける団体や個人については
12月19日（月）まで 飯豊町役場内
議会事務局にお願いします。

飯豊町議会事務局 総務 大谷 都・井上
TEL.0228-87-0527 FAX.0228-72-2430

全戸回覧した懇談会の案内チラシ



はじめての取り組みで緊張してのスタート



熱が入った意見交換多くの提言をいただく



参加者の意見を沢山聞いて

「もっと町民の声を聞いて」

—女性からみたまちづくり—

懇談会意見

高齢者住みよく

第1グループ



まちづくりや高齢者等が話題となった
第1グループ

- **高齢者世帯宅道の除雪基準**を緩和してほしい。
- 高齢者の**安否確認**の方法についてどのようなことがあるのか。
- **百歳体操**へどうすれば参加者を増やせるか。
- **添川児童センター**などの今後の活用をどのようにすべきか。
- 若い人が町に**定住**してくれるにはどうしたらいいのか。
- 道路や電線へ影響する**支障木**について対策はないのか。

定住や雇用の課題は

第2グループ



雇用や定住に対する政策課題が
話題となった第2グループ

- 町は**定住移住者**との**情報交換**を、継続的に行う必要があるのでは。そして「**冬場の収入確保策**」を。
- **女性の社会進出**支援のために、**情報提供**の工夫を。
- イベントでの**渋滞**、**売り切れ多発**が残念。**反省点を次**に活かして。
- 数回の**スキー授業**のための、**用具準備**は負担と感ずる。**リユースやおさがり情報**を。
- **液肥**の情報提供を。

子育てに優しい町とは

第3グループ



子育て環境が話題となった
第3グループ

- **子育て支援制度**や**仕組み**について保護者には詳しい内容が知らされていない。紙媒体での説明も必要だ。
- 「**飯豊が好きだ**」という**子ども**をどう作るか、町の**問題**として取り組んでいるか。
- **放課後子ども教室**と**学童保育**は融通がきかない部分がある。
- 施設が**使いづらい**、**子育てに優しい**町であってほしい。

議会と女性との懇談会継続を

—女性の社会参画への弾みに—

参加者アンケートより

参加しての感想は

- ・大変良かった 4名
- ・良かった 12名

■女性限定の設定が良かった。

■議員からの話やアドバイスが聞けた。

■日頃の思いを話すことができた。

■町のことで参考になる情報が沢山あった。

■初対面の方とも情報交換できた。

疑問は解決しましたか

・すべて解決した 0名

・一部解決した 6名

・政策提言して 8名

・改めて町に聞く 1名

・今後議会で検討してもらいたい 2名

懇談会のすすめ方

- ・良かった 15名

■事前のアンケートによりグループ分けが

されており、共通した話題で話しやすかった。

■参考になる情報が沢山あった。

■初対面の方とも情報交換できた。

今後の開催は

- ・開催すべき 14名

■女性が話せる場が少ないから。

■もっと多くの人の意見を聞きたい。

■これまでこのような会がなかったが、参加してみても有意義だった。地域の

役職などは男性がほとんどで女性の声が

少ないため。

■町政に届ける機会が少ないため。

次に開催したら参加いただけるか

- ・参加する 11名
- ・参加しない 2名

参加しない理由は

■この会が町に対し、どれだけ影響を与えるのか、様子を見たい。

■参加したい気持ちはあるが、より多くの方の参加が大切かと思う。

参加者の感想・意見

■情報の発信が少なく、町民に共有されていないのも沢山あるので、これが改善されれば、活動がもっと活発になるのでは。

■女性の集まりが年代、組織、立場別になれば、まちづくりの力になるのでは。

■自然豊かな町でも屋外活動やイベントも少なく、**学校や地域との連携**がもっと必要だ。

■若い人の考えが少し分った気がする。

■他地区の課題も聞いて知ることができた。

■もっと多くの方々の交流も必要だ。

■「声に出して動く」行動する人が増えていけば町も変わる。

■地区ごとに開催も希望します。

■各自話題にしたいことを出して、意見交換するのでもいい。

懇談会を終えて

将来のまちづくり

女性の視点で議論を

私たちの暮らしの中には、女性のおかげで存在しているものも沢山ありますが、政治にはなぜか女性の姿が薄いように感じます。

この度の懇談会では「議会ですっかりと取り組んでもらいたい」という期待もお聞きしましたが、まちづくりに女性の活躍の場を沢山つくることも、議員の大切な仕事です。

多くの女性が社会活動に興味や関心を持ってもらえるよう、このような話し合いを継続し、男女共同参画や女性の社会参加を促がす活動をすすめていかなければならないと感じた取り組みでした。



一部事務組合議会報告

令和5年度予算を議決

置賜広域行政事務組合議会

通信指令業務共同運用 へ向け工事費を計上

2月定例会が20日に開催され、令和5年度各会計当初予算など22議案と個人情報保護条例の制定のほか、議員発議2件を原案どおり可決しました。

一般会計予算の総額は、し尿受入れ施設整備に伴い、建設事業費

が増え、14・8パーセント増の43億730万円となりました。消防

特別会計は、西置賜行政組合との通信指令業務共同運用に向けた工

事費を計上し、28・9パーセント増の30億9

220万円となりました。なお、飯豊町の分

担金は1億1743万円となりました。

置賜広域病院企業団議会

病院経営強化プラン 初年度の予算を議決

定例会が2月15日に開催され、令和4年度補正予算及び個人情報保護法施行条例など9議案ほか議員発議1件を原案どおり可決しました。置賜広域病院は、開院時より置賜地域の

基幹病院としての役割を担うとともに地域医療構想と乖離がない

よう独自の経営強化プランを策定し、令和5

年度はその初年度にあたります。なお、飯豊

町の令和5年度の負担金は3914万円となりました。

定例会を傍聴してみませんか

次回の定例会開催は

6月15日 (予定) からです。



インターネットでも
見ることができます。

お問い合わせは議会事務局へ TEL : 0238-87-0527

編集後記

3月定例会では、1月29日に開催された「女性との懇談会」での町政に対する「声」を、一般質問を行った5名全員が取り上げました。各方面からの町政に対する「声」は、私たち議員にとっても新たな気づきとなりました。

今後は、性別、年齢、人数の多少を問わず議会が率先して「公聴」の機会をつくる必要性を感じました。
(高橋記)

発行責任者

議長 菅野富士雄

発行

広報公聴常任委員会

委員長 舟山 政男

副委員長 遠藤 芳昭

委員 後藤恵一郎

川崎祐次郎

屋嶋 雅一

高橋 勝